

## 事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部 農林水産局 農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 村上主直 (主幹兼田園空間係長 新見明)	内線	3931 (4028)
--------------	-------------------------	---------------------	----------------------------	----	----------------

事業種目	農村総合整備	事業名	事業区間	総事業費	4.5 億円
		むらづくり交付金	篠山西部地区	内用地補償費	0.9 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市(旧丹南町、旧今田町)	H19	H19	H23

事業目的	事業内容
<p>地域の農用地を特産農産物や地域で消費する地場野菜の生産の場とするともに、水と緑に恵まれた憩の場として活用するため、生産基盤や生活基盤を一体的に整備する。</p> <p style="text-align: center;"><b>【事業主体:篠山市】</b></p>	<p>農業生産基盤整備 農業用排水路:L=2.3km、 [国:50% 県12% 市13% 地元25%] 農村生活環境基盤整備(生活基盤) 集落道:L=2.4km [国:50% 県6% 市44% 地元0%] 獣害防止柵:L=12.8km [国:50% 県6% 市19% 地元25%] 農村生活環境基盤整備(環境施設) 転落防止柵:L=0.3km 水辺環境整備:1箇所 [国:50% 県1% 市24% 地元25%]</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>農業用排水路の老朽化により漏水がおり、農作物への悪影響や維持管理労力の増大が生じているため、水路の更新が必要である。 集落道路が狭小のため、道路の拡幅を行い、安全・安心な生活環境を確保する必要がある。 辺地での農作物の獣害被害が深刻であり、獣害防止柵による早急な対策が必要である。</p>
(2)有効性・効率性	<p>農業生産性の向上や獣害防止、維持管理節費減などに有効である。 費用便益比 <math>B/C = 1.79</math> 農地等の持つ環境保全機能の回復や安全な生活道路の確保といった地域ニーズに対応している。 施設の更新と合わせ、非農家を含めた地域ぐるみの管理体制を構築していく。</p>
(3)環境適合性	<p>ため池の水辺環境の整備時に、在来種(ミナミヌマエビ等)が多く生息する浅瀬の保全を行うとともに、外来種(ブルーギル)の駆逐を行う。 水路改修時に、生態系に配慮した石積工法等の採用を行う。</p>
(4)優先性	<p>すでに整備済みの「丹波旬の市」(本店、南部店)への地場野菜(西瓜、山の芋他)の供給による生産振興を図るため、生産基盤の更新や獣害防止対策を早急に実施する必要がある。 安全・安心な生活のため、生活道路の狭小区間の幅員確保と農業用水路の危険箇所への防護柵設置を早急に対応する必要がある。</p>